

第 35 期

中間事業報告書

(平成14年10月1日から)
(平成15年3月31日まで)

ユニベルス株式会社

〒104-0041 東京都中央区銀座7-16-3 Tel. 03-5148-3000 (代表)

営業報告書

(自 平成14年10月1日)
(至 平成15年3月31日)

1. 営業の概況

(1) 営業の経過および成果

当上半期におけるわが国経済は、対イラク攻撃が始まり、世界的な株価の下落や米国経済の減速などにより、先行き懸念が強く、厳しい状況が続きました。このような状況下、当社は前期より、営業収益の上昇、在庫圧縮による収益構造の改善、また、次世代の収益に向けた製品開発などの努力を続けております。その結果、当中間会計期間は前年同期に比へまして売上高は231百万円増加し、それに伴い営業利益は33百万円増加し、経常利益も32百万円増加いたしました。中間純利益は投資有価証券評価損の計上もありましたが、ほぼ予定の中間純利益を計上できました。

セグメント別では、はじめに、当社基幹事業の売上の43.3%を担っておりますウェイング・FA事業は、景気の低迷・設備投資の冷え込みなどにより設備投資意欲も回復が見られないなど、相変わらず厳しい状況ではございましたが、地道な営業戦略と、市場動向の再調査によるOEM先への提案などにより、ウェイングは19百万円（対前年同期比4.6%減）、FA（ファクトリーオートメーション）は、41百万円（対前年同期比9.2%減）の減少にとどめました。次に、ロジスティクス事業では、新展開を見せておりますCMS（仕分けシステム）が好調で498百万円増加（対前年同期比290.3%増）となり、今後も複数の案件が予定されておりますため人材の確保などに努め事業を拡大する予定です。また、セキュリティ事業はドラッグストア、書店向けSAS（物品監視システム）を中心に販売を進めておりますが、前期に事業を中止いたしました印鑑照合機の影響もあり、結果として53百万円（対前年同期比76.0%減）となりました。さらに、情報通信事業においては13百万円（対前年同期比64.6%減）となりました。最後に、その他電子機器につきましては、修理の減少により59百万円（対前年同期比43.9%減）となりました。

収益面では、対前年同期に比べて製造原価中の固定費が53百万円増加したこと、ウェイング・FA等の高収益品目の売上減少、及びCMSにおける新システム開発の初期的なコスト高などにより、売上高総利益率は6.8%悪化し売上総利益は47百万円減少しました。一方、販売費及び一般管理費は前期より実施している経費削減効果が現れ81百万円の減少となり、売上総利益の減少を吸収して営業利益33百万円の増加となりました。営業外損益は例年通りの推移となり、営業利益の増加がそのまま経常利益に反映し経常利益は32百万円の増加となりました。特別損失は投資有価証券評価損が26百万円減少したこともあり、前期比25百万円の減少となりました。この結果、当中間会計期間の売上高は1,861百万円（対前年同期比114.2%）、経常利益67百万円（対前年同期比193.8%）、中間純利益30百万円（対前年同期比―%）となり、ほぼ予定の売上、利益を計上できました。

今後とも、効率的な事業運営に努め、より一層の収益力の増加を目指してまいります。

2. 会社の概況（平成15年3月31日現在）

(1) 主要な事業内容

エレクトロニクス機器の開発

高度なエレクトロニクス関連技術でさまざまな製品を産業界に送り出しております。

コアとなる技術はコンピュータ、通信、画像処理等であり、打ち合わせから開発・製造・アフターサービスまで一貫した生産活動を行っております。

ユーザーは、工業計測・計重・重工・自動車・機械・食品・物流・環境・メディカル・セキュリティ等多岐に亘っております。

[主要製品]

区 分		主 要 用 途	品 目
製 品	ウェィング	自動計量制御 (液体、粉体の連続充填の計量制御、トラックスケール、ホッパースケール、パッカースケール、ウェイトチェッカー、食品加工プラント、化学プラントの計重、配合計量)	ロードセル指示計、ウェィングコントローラ
	ファクトリーオートメーション	ファクトリーオートメーションシステムの中で圧入、加締め、トルク等の計測、制御管理	デジタル指示計、ダイナミック・フォース、プロセッサ、DCアンプ、ロードセルコンバータ、シグナルコンディショナ
	環 境	環境（大気、水質、地震、振動、騒音）の計測、分析、記録、通信	データロガー、地震計、田んぼ通信
	ロジスティクス	サプライチェーン・マネジメントを実現する手段としてのカートマネジメントシステム、棚卸支援	カートマネジメントシステム、オーディター端末
	セキュリティ	防犯、機密保持、偽造防止、万引き防止	物品監視システム(SAS)
	情報・通信	生産現場での各データ記録、収集、分析による品質向上、生産性の向上	プロセスレコーダー、データロガー、インテリジェントプリンタ
	その他の電子機器	その他	アルチパリオNANA
商 品	当社製品と組み合わせるセンサー等用途はウェィング、ファクトリーオートメーションと同じ	ロードセル、キャリブレータ、mmEye	

(2) 事業所

- ◎本社 東京都中央区銀座七丁目16番3号
- ◎営業所 技術センター（埼玉県越谷市）
大阪支店（大阪府大阪市）
名古屋営業所（愛知県名古屋市）
広島営業所（広島県広島市）
福岡営業所（福岡県福岡市）

(3) 株式の状況

- ① 会社が発行する株式の総数 17,000,000株
- ② 発行済株式の総数 5,370,500株
- ③ 株主数 4,348名
- ④ 大株主

株主名	当社への議決権状況		当社の当該株主への議決権状況	
	議決権数	議決権比率	議決権数	議決権比率
吉本喬美	12,220個	22.75%	—	—
クレディアグリコインドスエズルクセンブルグ	1,460個	2.72%	—	—
ユニパルス社員持株会	1,340個	2.50%	—	—
星竹夫	1,340個	2.49%	—	—
株式会社みずほ銀行	1,240個	2.30%	—	—
株式会社三井住友銀行	1,240個	2.30%	—	—
住友生命保険相互会社	1,100個	2.04%	—	—
UFJ信託銀行株式会社	1,000個	1.86%	—	—
日本生命保険相互会社	1,000個	1.86%	—	—
降籬徹	720個	1.34%	—	—

(4) 従業員の状況

従業員数		前中間比増減	平均年齢	平均勤続年数
男性	122名	(-) 8名	36.2才	7.3年
女性	31名	(-) 2名	32.5才	4.9年
合計又は平均	153名	(-) 10名	34.4才	6.1年

(注) パートタイマー及び嘱託契約者45名(8時間就業換算人員)を含んでおりません。

(5) 取締役および監査役

地 位	氏 名	担当又は主な職業
代表取締役社長	吉 本 喬 美	
常務取締役	星 竹 夫	営業本部長
取締役	和 田 倫 幸	管理本部長
取締役	小 川 岳 夫	技術本部長
監査役(常勤)	小 原 正 一	
監査役	藤 井 幸 弘	税 理 士
監査役	山 本 清 次	公 認 会 計 士

- (注) 1. 取締役 和田倫幸 小川岳夫の2氏は平成14年12月7日付で就任しました。
2. 取締役 加藤嘉一は任期満了により平成14年12月7日をもって退任しました。
3. 監査役 小原正一 藤井幸弘及び山本清次の3氏は、「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。

中間貸借対照表

(平成15年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	4,322,483	流動負債	1,592,243
現金及び預金	900,980	支払手形	530,390
受取手形	611,326	買掛金	222,152
売掛金	670,260	短期借入金	150,000
たな卸資産	2,012,903	一年以内に返済予定の 長期借入金	592,484
繰延税金資産	111,840	未払法人税等	4,306
その他	19,914	その他	92,909
貸倒引当金	△ 4,741	固定負債	1,526,523
固定資産	3,970,510	長期借入金	1,158,109
有形固定資産	2,370,569	退職給付引当金	18,733
建物	877,718	役員退職慰労引当金	308,383
土地	1,265,095	その他	41,298
その他	227,755	負債合計	3,118,767
無形固定資産	56,381	資 本 の 部	
投資その他の資産	1,543,559	資本金	1,731,575
投資有価証券	948,546	資本剰余金	1,731,475
繰延税金資産	320,883	資本準備金	1,431,475
その他	274,130	その他資本剰余金	300,000
貸倒引当金	△ 1	利益剰余金	1,862,687
資産合計	8,292,993	利益準備金	60,922
		任意積立金	1,766,400
		中間未処分利益	35,365
		その他有価証券評価差額金	△ 151,511
		資本合計	5,174,226
		負債及び資本合計	8,292,993

中間損益計算書

（自 平成14年10月1日
至 平成15年3月31日）

（単位：千円）

科		目	金 額
経常損益 の部	営業損益の部	売上高	1,861,873
		売上原価	1,355,874
		売上総利益	505,999
		販売費及び一般管理費	428,487
		営業利益	77,511
	営業外損益の部	営業外収益	5,223
営業外費用		15,398	
	経常利益	67,336	
特別損益 の部	特別利益	1,503	
	特別損失	6,221	
	税引前中間純利益	62,618	
	法人税、住民税及び事業税	4,475	
	法人税等調整額	27,297	
	中間純利益	30,845	
	前期繰越利益	4,519	
	中間未処分利益	35,365	

株 主 メ モ

決 算 期 日 9月30日

定 時 株 主 総 会 12月中

1 単 元 の 株 式 数 100株

公 告 掲 載 新 聞 日 本 経 済 新 聞

当社は、貸借対照表及び損益計算書を、決算公告に代えて、ホームページに掲載しております。

貸借対照表等の掲載場所は次のとおりであります。

<http://www.unipulse.com/jp/ir/calcrep.html>

名義書換代理人 UFJ信託銀行株式会社

同 取 扱 場 所 UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

同 取 次 所 UFJ信託銀行株式会社 全国各支店